

令和4年度 図書館だより 〈第4号〉

令和4年9月14日（水） 群馬県立太田フレックス高等学校図書館 発行

前期末考査が終わり1週間近くたちました。皆さんいかがお過ごしですか。朝夕はだいぶ涼しくなり、秋の訪れを感じるようになりました。新しく入った本のコーナーでは、先頃発表された芥川賞や直木賞を受賞した作品をはじめ、おすすめの本を紹介しました。図書室に来て心に残る1冊、忘れられない1冊を見つけてみましょう。また、コロナ禍ではありますが、群馬県立図書館が実施するイベントの案内も掲載しました。

定時制・多読生徒の紹介（4～8月）

順位	学籍	氏名	冊数
1			86
2			50
3			31
4			29
5			26
6			25
7			21
8			16
8			16
10			14

雑誌『MOE』の付録をプレゼント

月刊『MOE』には毎月付録がついてきます。9月号は水木しげる「のんのんばあとオレ」妖怪クリアファイル、10月号は北澤平祐・描きおろし大判ダイカットカードです。1か月以内に、3冊以上本校図書室で借りている生徒に、今月より申し出順に差し上げます。

ビブリオバトル群馬県大会 定時制参加生徒募集

お気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介してみませんか？

ビブリオバトルとは？ 発表者が5分間で本を紹介して、観戦者が「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として投票を行い、最多票を集めたものがチャンプ本（優勝）となります。

日時 令和4年11月5日（土） 12:20～16:40
場所 群馬県立図書館 前橋市日吉町1-9-1

- 各校より1名参加できます。本校の参加希望者が2名以上のときは、校内予選を行います。申込みは9月22日（木）までに、本校の図書館までお願いします。多くの応募をお待ちしています。図書室の掲示板にポスターを掲示してあります。

* 新型コロナの感染状況により、変更または中止になる場合もあります。



新しく入った本の紹介 新しく入った本の中から6冊を紹介します。

『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬隼子／著 講談社

職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができてがんばり屋の押尾。ままならない人間関係を、食べものを通して描く傑作。心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説、第167回芥川賞受賞作。



『夜に星を放つ』

窪美澄／著 文藝春秋

かけがえのない人間関係を失い傷ついた者たちが、再び誰かと心を通わせることができるのかを問いかける短編集。もう何も失いたくない。でも私は、また人と関わりたいと思った。この著者だからこそ掲げ上げることのできる、人の心の揺らぎが輝きを放つ5編。第167回直木賞受賞作。



『両手にトカレフ』

ブレイディみかこ／著 ポプラ社

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の著者が、この作品では描けなかった、14歳の少女の「世界」を描く、心揺さぶる長編小説。この物語は、かき消されてきた小さな声に力を与えている。その声に私たちが耳を澄ますことから、全ては始まる。



『腹を割ったら血が出るだけさ』

住野よる／著 双葉社

「愛されたい」に囚われた女子高生、ありのままを誇る美しい青年、自らのストーリーを作り続けるアイドル、他者の失敗を探し求める少年。それぞれの踏み出す一歩が響き合う、極上の青春群像劇。



『掬えば手には』

瀬尾まいこ／著 講談社

大学生の梨木匠は平凡なことがずっと悩みだったが、中学3年のときに、エスパーのように人の心を読めるという特殊な能力に気づいた。ところが、バイト先で出会った常盤さんは、匠に心を開いてくれない。常盤さんはつらい秘密を抱えていたのだった。ちょっぴりつらい今日の向こうは、光と音があふれる。切なく温かい物語。



『プリズム』

ソノウオンピョン／著 祥伝社

この恋が永遠でないことを知っている。けれど感じるができるのは現在だけだ。『アーモンド』『三十の反撃』の著者が贈る、四人の男女の、揺れ動く心の移ろいを繊細に描いた、大人の恋の物語。



* 紹介文は全国書店ネットワーク「e-hon」より引用しました。

* 秋季休業の10月3日（月）の開館時間は、11:00～16:30です。変更がある場合は本校webページにてお知らせします。